

# ロキソプロフェンT液

- ◆ロキソプロフェンT液は、飲みきりタイプの液剤なので、いつでもどこでも服用できます。
- ◆解熱鎮痛成分ロキソプロフェンナトリウム水和物が痛みや熱の原因となる物質プロスタグランジンを抑え、痛みに速く効きます。
- ◆体内で吸収されてから活性型に変化し効果を発揮する胃への負担が少ない成分です。
- ◆眠くなる成分を含んでいません。

## 効能

- ◆頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- ◆悪寒・発熱時の解熱

## 用法・用量

症状があらわれた時、次の量をなるべく空腹時をさけて服用してください。

成人（15歳以上）、1回1本（10mL）、1日2回まで

\*ただし、再度症状があらわれた場合には3回目を服用できます。服用間隔は4時間以上おいてください。

15歳未満、服用しないこと

## 注意

- ・定められた用法・用量を厳守してください。
- ・服用方法：1本を切り離し、容器を立てた状態で矢印の方向にゆっくりと回し、開けてください。（いきおいはよく開けると、薬液が飛び出すことがあります）

## 成分

1本（10mL）中

ロキソプロフェンナトリウム水和物 68.1mg（無水物として60mg）

## 添加物

パラベン、サッカリンNa、クエン酸Na、クエン酸、香料、プロピレングリコール、エタノール、バニリン

## 使用上の注意

### してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

- 次の人は服用しないでください  
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。  
15歳未満の小児。  
医療機関で次の治療を受けている人。  
胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、心臓病  
医師から赤血球数が少ない（貧血）、血小板数が少ない（血が止まりにくい、血が出やすい）、白血球数が少ない等の血液異常（血液の病気）を指摘されている人。  
出産予定日12週以内の妊婦。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 服用前後は飲酒しないでください
- 長期連続して服用しないでください  
（3～5日間服用しても痛み等の症状が繰り返される場合には、服用を中止し、医師の診療を受けてください）

### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください  
医師又は歯科医師の治療を受けている人。  
妊婦又は妊娠していると思われる人。  
授乳中の人。  
高齢者。  
薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
次の診断を受けた人。  
気管支ぜんそく、潰瘍性大腸炎、クローン病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病

次の病気にかかったことがある人。

胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病、血液の病気

- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

本剤のような解熱鎮痛薬を服用後、過度の体温低下、虚脱（力が出ない）、四肢冷却（手足が冷たい）等の症状があらわれた場合。

服用後、消化性潰瘍、むくみがあらわれた場合。

また、まれに消化管出血（血を吐く、吐き気・嘔吐、腹痛、黒いタール状の便、血便等があらわれる）、消化管穿孔（消化管に穴があくこと。吐き気・嘔吐、激しい腹痛等があらわれる）、小腸・大腸の狭窄・閉塞（吐き気・嘔吐、腹痛、腹部膨満等があらわれる）の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

服用後、次の症状があらわれた場合。

皮膚：発疹・発赤、かゆみ

消化器：腹痛、胃部不快感、食欲不振、吐き気・嘔吐、腹部膨満、胸やけ、口内炎、消化不良

精神神経系：眠気、しびれ、めまい、頭痛

循環器：血圧上昇、動悸

その他：胸痛、倦怠感、顔面のほてり、発熱、貧血、血尿

- まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

ショック（アナフィラキシー）：服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

血液障害：のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる（歯茎の出血、鼻血等）、青あざができる（押しても色が消えない）等があらわれる。

皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症：高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、水疱が皮膚の赤い部分にあらわれる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。

腎障害：発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。

うっ血性心不全：全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。

間質性肺炎：階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。

肝機能障害：発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

横紋筋融解症：手足・肩・腰等の筋肉が痛む、手足がしびれる、力が入らない、こわばる、全身がだるい、赤褐色尿等があらわれる。

無菌性髄膜炎：首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）

ぜんそく：息をすときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください

口のかわき、便秘、下痢

- 1～2回服用しても症状がよくなる場合（他の疾患の可能性も考えられる）は服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

## 保管及び取扱い上の注意

- ・直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。
- ・小児の手の届かない所に保管してください。
- ・他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）
- ・使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。
- ・目薬と誤って、目に入れないように注意してください。

31

### 【多言語製品情報提供時に関する免責事項】

- ・本製品は、日本国内での販売及び使用を目的として、日本の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づき承認された医薬品です。
- ・多言語製品情報は、当該製品の日本語の添付文書を翻訳したものであり、あくまで参考情報として提供されるものです。その記載内容及び当該製品自体が日本国外の法規に適合していることを保証するものではありません。
- ・多言語製品情報は、提供者（又は当社）による仮訳であり、今後、予告なしに修正・変更される可能性があります。
- ・多言語製品情報の記載内容に起因して発生した問題については、提供者（又は当社）は一切の責任を負いかねます。